

## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 一般国道201号 <small>ゆくはし</small> 行橋インター関連	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 九州地方整備局																				
<b>起終点</b> 起点：福岡県行橋市吉国 終点：福岡県京都郡苅田町二崎		<b>延長</b> 4.5km																				
<b>事業概要</b> 国道201号行橋インター関連は、国道201号の終点部に位置し、国道10号と連絡しており、行橋市及び苅田町の市街地部の交通混雑緩和並びに事業中の東九州自動車道や北九州空港と筑豊地域とを連絡する延長4.5kmの道路である。																						
H8年度都市計画決定      H12年度事業化      H17年度用地着手      H21年度工事着手																						
全体事業費      約121億円      事業進捗率      約34%      供用済延長      0km																						
計画交通量      4,200～22,900台/日																						
<b>費用対効果分析結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.6</td> <td style="text-align: center;">60/123億円</td> <td style="text-align: center;">318/318億円</td> <td style="text-align: center;">平成21年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">(事業費：51/115億円) 維持管理費：8.6/8.6億円</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益：285/285億円) 走行経費減少便益：29/29億円 交通事故減少便益：4.1/4.1億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(事業全体)	2.6	60/123億円	318/318億円	平成21年	(残事業)	(事業費：51/115億円) 維持管理費：8.6/8.6億円	(走行時間短縮便益：285/285億円) 走行経費減少便益：29/29億円 交通事故減少便益：4.1/4.1億円		5.3				感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.8（交通量 +10%）      B/C=5.2（交通量 -10%） 事業費変動：B/C=4.9（事業費 +10%）      B/C=5.8（事業費 -10%） 事業期間変動：B/C=5.2（事業期間+20%）      B/C=5.5（事業期間-20%）
B/C	総費用	総便益	基準年																			
(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(事業全体)																			
2.6	60/123億円	318/318億円	平成21年																			
(残事業)	(事業費：51/115億円) 維持管理費：8.6/8.6億円	(走行時間短縮便益：285/285億円) 走行経費減少便益：29/29億円 交通事故減少便益：4.1/4.1億円																				
5.3																						
<b>事業の効果等</b>																						
①交通円滑化の向上 ・渋滞損失時間の減少(110万人時間/年→70万人時間/年) ・並行区間(吉国～行事交差点)の旅行速度(18.8km/h→36km/h) ・筑豊地域から行事交差点方面の最大渋滞長(1,150m→410m) ・所要時間の信頼性の向上による便益【約21億円※】 ・沿線に立地する企業活動の円滑化 ②地域産業の支援 ・広域的な物流搬送の効率が向上 ・苅田港～行橋IC(仮称)間の所要時間の短縮(約6分の短縮) ・筑豊地域～苅田港間の所要時間の短縮(約6分の短縮) ③救急活動の迅速化 ・交通渋滞の緩和等により救急活動が迅速化 ④交通安全性の向上 ・通過交通の生活道路への流入減少による安全性の向上 ⑤生活環境の改善 ・現道部の夜間大型車交通量の変化(1,324台/日→879台/日) ・現道部の夜間騒音値の低減(71dB→70dB)																						
※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)																						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 行橋市をはじめとする2市5町で構成される東九州自動車道福岡県北東部建設促進協議会(会長：行橋市長)等により早期整備の要望を受けている。(平成21年7月)																						
<b>県知事の意見</b> 一般国道201号行橋インター関連事業について、再評価の結果「当該事業区間の暫定供用に向けて事業を継続すること」とされたことについて、特段の意見はありません。 当該道路は本県の東部地域の主軸となる東九州自動車道行橋インターに直接連絡する道路であり、計画的な事業実施により、行橋インターの完成までには供用をはかること。さらに必要に応じ適切な時期に4車線化の事業を実施されたい。																						

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

苅田港周辺での企業立地の増大に伴い、大型貨物車が増加しており、苅田港を連絡する国道201号の2車線区間では慢性的な交通混雑が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成20年度末の事業進捗率は事業費ベースで約34%であり、そのうち用地進捗率は約43%に達している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関連機関との協力体制のもと、東九州自動車道の整備に合わせ事業効果を早期発現できるよう、用地買収や工事等の推進を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

- ・当面2車線整備に必要な事業費に見直し【約99億円】
- ・幅員の精査見直し
- ・橋梁等構造物と高盛土区間の延長比較によるコスト精査、新技術・新工法の積極的活用の検討及び建設副産物対策等によるコスト縮減

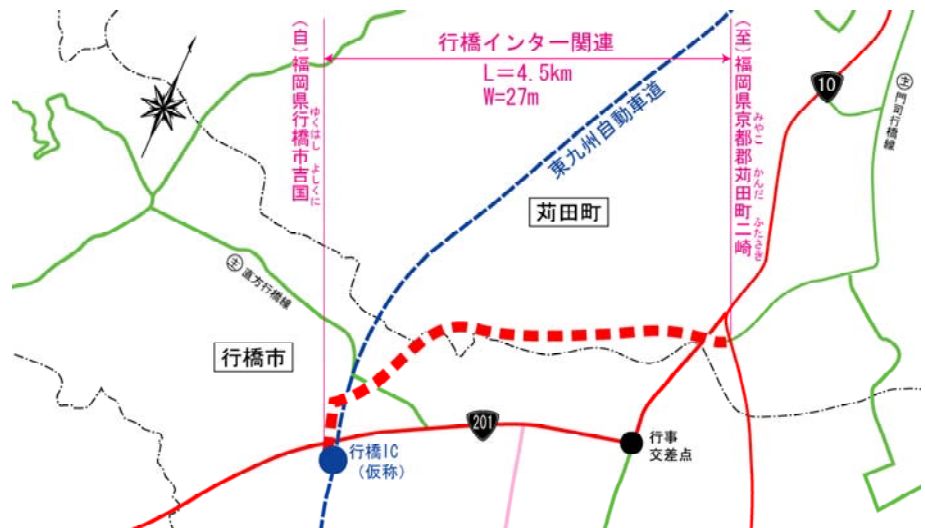
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。